

歯肉の利点

腫瘍化を抑制する方法を

を応用すれば、以前は治 課題だ。この骨再生技術

iPS細胞の欠点だった

私たちの研究グループ

歯肉由来のiPS細胞

補綴が可能となるだろ

療できなかった患者への

後の骨再生戦略として

iPS細胞を用いた今

学院歯学研究科教授)が「再生歯学の最先端~i

協会が5月24日に大阪市内で開いた第52回定期

**歯学研究科教授** 東北大学大学院

江草宏氏

「開業医

への普及も可能

可能性を秘めている。

骨補填剤に

世界で初めて歯肉から人工多能性幹細胞

(東北大学大

自分の細胞(自然治癒

力)で元通りにする治療

来のものと比べて作製ス 来のiPS細胞は皮膚由

> ルではiPS細胞を使っ はまだ遠いが、動物モデ

> はないため骨置換しやす う技術だ。人工補填剤で

骨の再生を促すことが

ピードが速いという利点

、特定の

従来から顎底吸収を起こ 可能になった。歯科では

全で効率的に骨再生でき

とた患者への補綴治療が

歯科の未来

体の一部にできた欠損を

iPS細胞を作製できる では、歯肉から質の高い

構造が複雑な歯の再生

填剤として使用するとい

ぐために不活化し、骨補 基質を産生。腫瘍化を防 限の増殖性を利用し、 開発だ。iPS細胞の無

はないか。

ことを発見した。歯肉由

再生医療とは、人間の

念講演した。要旨は次の通り。

·S細胞が可能にする歯科医療とは」

と題して記

胞の登場で、患者の細胞 の総称である。iPS細

から万能細胞を作り、

療に応用する技術に期待

薬剤を使用することで、 がある。しかも、

宏氏=5月24日、大阪市内剤の研究について語る江草・PS細胞由来の骨補填製

器の再生医療への応用が

業医への普及のハードル

②特定機能病院などでの

界に大きな変化をもたら

1PS骨補填製剤の普及

①開業医への不活化

腺など様ざまな組織・臓

第52回定期 総会記念講演

研修講座

## 感染根管治療を考える

(第三種郵便物認可)

### 牛島進氏が講演

る」と述べ、多数の症例

後の経時変化で判断す

ルは根充ではなく、そ

上にわたるエックス線

島氏は、「歯内療法のゴ が多いと感じられる。牛 でも難しいと考える先生

歯内療法は日々の診療

「歯内療法は経時変化で判 断を」と語る牛島進氏 =5月17日、M&Dホ

いとのことである。根充 根管内への貼薬は行わな はNaClOとH2O2による。 を作らないことが重要で でもかまわないが、死腔 に関しては「OverFilling け削除量は少なく、消毒 根管形成では出来るだ

> 緊密で根尖封鎖が出来て ントロールされて根充が いれば治癒に向かうと説

を講師に生涯研修講座「難治性の感染根管治療を

M&Dホールで開いた。

会

最後に、安易に抜髄を

メントを振動させること できる場合はインスツル で取れやすくなる、把持 ケーラーを利用すること 折れたFileは超音波ス

在宅療養支援歯科診

で除去しやすくなるとの を行う。根未完成歯の場 6 力月経過観察後、根充 ことである。 製剤で仮根充をして3~ しない場合はCa(OH):

で消毒洗浄を行 察を行うと強調した。 Ca(OH)2で根充、

の保存に努める。NaClO 合は無麻酔下で残存歯髄

が大切とのことだった。 は基本に忠実に行うこと 行わない、治療する場合

# 設基準の研修会開



在宅療養支援歯科診療所の施設基準の届出に対応した研修会=5月

M&Dホール

ライフサイクルに沿って

社保研究部は在宅寮養

援」と題して、高橋一也 準に係る研修会を5月23 演した。参加は112人。 歯科学講座准教授)が講 氏(大阪歯科大学高齢者 としての口腔機能向上支 た。「かかりつけ歯科医 M&Dホールで開い

など

患の把握③偶発症に対す 性を十分知るために、 強調。高齢者の心身の特 老化による影響②全身疾

来、開業歯科医院でiP を描いている。近い将 した治療技術の開発

期待されている。患者の

が研究を進めているのは は高い。そこで、私たち

iPS由来の骨補填剤の

たな歯科医療技術の開発 体質の違いを考慮した新

にも有用なツールとなる

域に密着した役割のでき る能力が求められる」と 療・福祉を提供できる地 口と歯に関する保健・医 を理解しておく必要があ る緊急対応処置 また、厚労省が進める

地域支援事業と予防給付

行うと共に、摂食嚥下障 現場に入り、他職種との り組むか」と問題提起し 向上支援にどのように取 取り組むことを指摘。 診断と口腔機能の評価を た。同氏は、在宅医療の 連携を取りながら適切な

目の前に迫っている。 急速に進歩している。こ ティスト」と呼ばれる治 今、CAD/CAMを活 S細胞の技術を利用して の二つの夢のある治療が 胞を利用した再生医学が 用した「デジタル・デン 状は厳しいが、未来は決 治療する日が訪れるので 療技術の発展・普及が著 して暗くない。歯科では い。 一方で、 iPS細 歯科医療を取り巻く現 チェア上での間接訓練を 況を見落とさないこと、 診療室での通院患者の状 生方に対しては、 害、誤嚥性肺炎の予防に の介護予防、摂食機能療 十分行ってから訪問先で 診療を行おうと考える先 能力が必要と述べた。 問題にしっかり対応する 齢者の日常生活における 番の関心事である食事 最後に、これから訪問 、まずは 高

新規・増口申し込み受け付け中

予定利率 1.259%

自在性に富んだ会員のための年金制度

①急な出費・生活設計にあわせて1口単位で解約できます ②払い込みが困難な時は「中断」、余裕ができれば「再開」

③加入5年以上でお好きな時から年金受給できます

6/25 節め切り

払〉1口1万円・通算30口まで 〈一時払〉 1 口50万円・毎回40口まで ※加入は満74歳までの会員 月払増口・一時払は満79歳まで

お問い合わせは共済部(06-6568-7438)まで

こんな歯科医院様へオススメ!!

●求人票を書くのが大変!

○医院をもっとアピールしたい!

○長期間の求人広告を出したい!

Wのアピール!! 🕾 長期掲載!!

①60校のDH養成学校へハモナビオリジナル「**求人ファイル**」設置!

②WEB上特設求人コーナー「新卒求人コーナー」開設!



詳しくはお電話か、ホームページをご覧ください

**30800-111-4510** FAX.06-6393-3232

ハモナビ





http://harmonic-net.co.jp/